

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小中学校ごみ減量化促進事業				会計	款	項目	大事	小事
					01	04	02	03	02
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			主管課	クリーンセンター			
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり			主管課長	糸井 正人			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校の児童・生徒	意図	ごみの減量・資源化の意識を高めてもらい、児童、生徒に実践してもらう。
事業内容	ごみ減量化促進ポスターを募集し、審査、表彰する他、最優秀作品をポスターにして公共施設等へ掲示する。			
事業開始から現在までの状況変化	ごみの減量・資源化の有効利用を図るためには、市民一人ひとりの協力が不可欠である。このことから、小中学校の児童・生徒において、ごみの減量・資源化を実践することにより、保護者等にも広がり、ごみの減量・資源化が促進される。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	ポスター応募作品数	348			
②	施設見学学校数	15	15	16	校	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,560,147	3,523,123	3,832,855			
事業費(b)(円)		66,647	68,123	67,855			
うち一般財源		66,647	68,123	67,855			
職員給与費(c)(円)		3,493,500	3,455,000	3,765,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	ポスターコンクールの応募資格は小学4年生としているので、対象者は毎年変わっているため継続して行きたい。	③取組の課題	上級生である中学生にも啓発活動を拡大する必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	ポスターコンクールを実施し、広報及びホームページに掲載するとともに最優秀作品はポスターにし公共施設や事業所に展示。ごみの減量・資源化の促進を図った。	④今後の改善計画	小学生については、対象者が毎年かわることから継続し、更に中学生への取組みについて検討していきたい。